

平成22年6月5日 (成功者社長の条件)

No. 72

成功者社長の条件 ①人のやらないことをやり②やった人の真似をやり③人が途中で投げだしたくたすことを徹底して継続すること。「明るい」「好奇心が強い」と本に書かれています。

①は天才型経営者で誰でも出来ることではありませんが、②、③は誰でも出来る可能性があります②③もなかなか難しいです。

誰れもが成功を目指して経営をしていますが、成功者社長の条件を実行しなければ成功することはできません。松下幸之助の「成功するコツは成功するまでやめないことだ」と言っています。私は経営の勉強会に参加したり、本を読んだり学んでいいますが残念ながら今年の業績は、単表10年自己最悪の数字になりそうです。毎月偉そうなことを書いていのに、恥がしいです。原因はどこにあるかと考えてみると、徹底してやり続けることができない。意志が弱く、良い人になりたい気持ちが多くては思っています。日創研の研修で木野規之先生が「お人好しは経営者として失格だ」と言っていました。経営者は良い人ではダメだと思っています。社員に対して美の愛情は、難しい仕事を任せ、厳しくすることかと思っています。私の子供には、厳しく叱るばかりです。会社の理念、目的に合わない行動をする社員には、厳しく叱る。怒りも大事だが、今の時代、厳しくすることの方が大事かと思っています。日本は成長の時代ではないので、少し格好づけはダメで、欲ほり泥臭さが必要かと思っています。高い利益を出し、給料を多くもらい、Vベルの高い公知混同(脱税、経費の非公開はダメ)をすべきかと思っています。それくらい自信を持った経営をしていかないと、逆に社員を不幸にさせてしまうかと思っています。自分自身を高め、一番の課題であるお客増を徹底してやっていく。自分達の価値から値引きされることは、やらない、強い経営をしていく必要かあるかを感じています。

高林幸裕